

多自然川づくり取組事例

タイトル：尻別川におけるカワヤツメの生息環境創出モニタリング調査結果について		
水系/河川名：尻別川水系尻別川	河川分類：大河川	
河川の流域面積：1640km ²	整備計画流量：2000m ³ /s	セグメント：1
事業：河川改修	事業開始年度 年度	
目標設定：定性的	段階：C(モニタリング・評価時)	
課題・目的(主な)：貴重種、特定動植物の保全、水際域の保全・再生・創出		
工法(主な)：護岸整備		
配慮事項(主な)：その他		

背景・課題、目標設定

<背景>

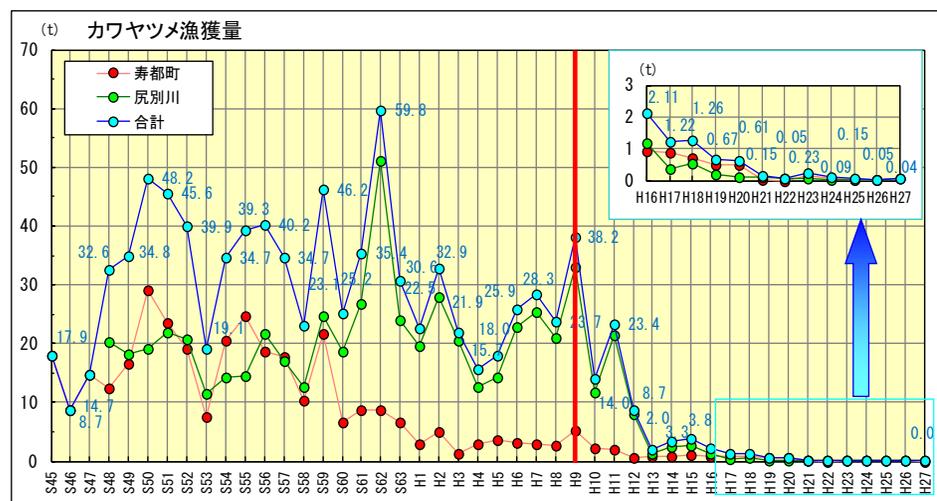
尻別川における漁業権対象種であり環境省レッドリストの絶滅危惧II類に区分されているカワヤツメが平成9年以降減少傾向となったことから保全のため、平成28年にカワヤツメ幼生生息箇所創出の試験施工を実施した。施工後、カワヤツメの生活史1サイクル6年が経過したことからモニタリング調査結果を報告するものである。

<課題>

カワヤツメの生息環境創出に有効と思われる形状で袋型根固めを設置したが、出水等の流況の変化によるシルト・細砂流出も懸念される。

<目標>

カワヤツメの生活史1サイクルが経過し、カワヤツメ幼生生息箇所としての効果が確認されるか。



〔出典〕寿都町漁業協同組合・尻別川漁業協同組合(蘭越町役場)2015における聞き取り

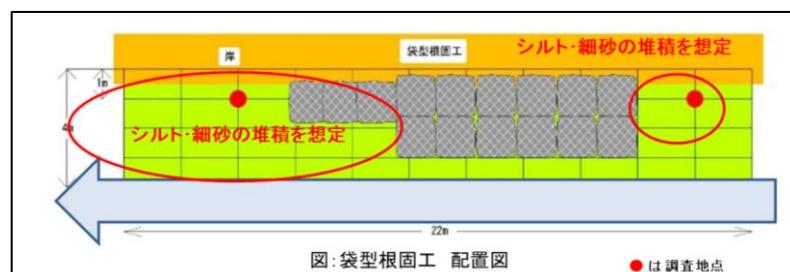
取組内容・対策例(1/2)

- 既存の調査結果から得られたカワヤツメに適した生息環境とされるシルト・細砂の組成比率が70～80%程の底質と流速0.2m/s未満の水域を意図的に生息環境として創出することを検討。
発生材の活用かつ維持管理が容易なネットに発生材を詰めた「袋型根固工」を施工することとした。

- 設置箇所は、カワヤツメの生息に不適な礫・粗砂分の多い河川整備施工済みの単一断面箇所を選定。



- 袋型根固工の下流側を主として堆砂範囲の創出を想定し、約20mに上流から変化をつけて2段3列、2段1列を計30個の袋型根固工を設置。



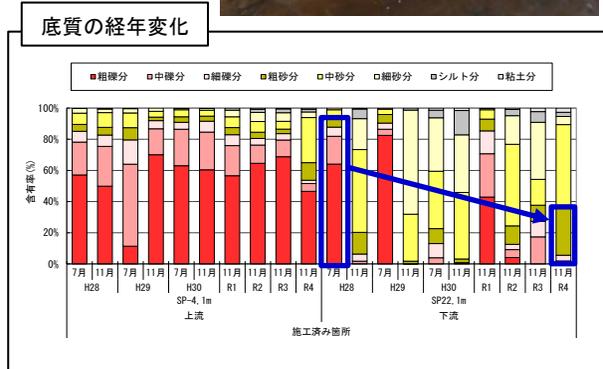
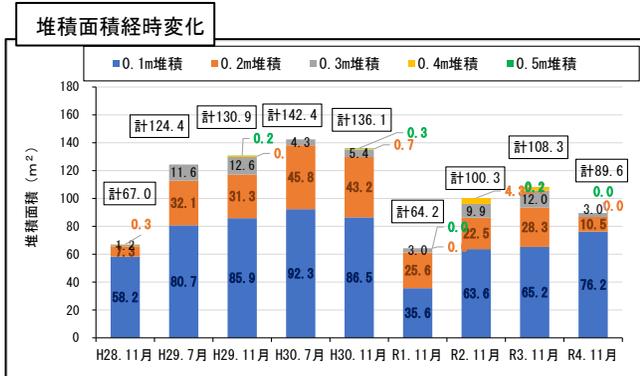
取組内容・対策例(2/2)

4. 想定される成果が得られるか下記の項目でモニタリングを実施

- ・ 施工箇所の河床の堆積状況
- ・ 浮泥の堆砂面積の経時変化
- ・ 河川流量の経時変化
- ・ 河床底質の経年変化
- ・ カワヤツメ幼生の採捕



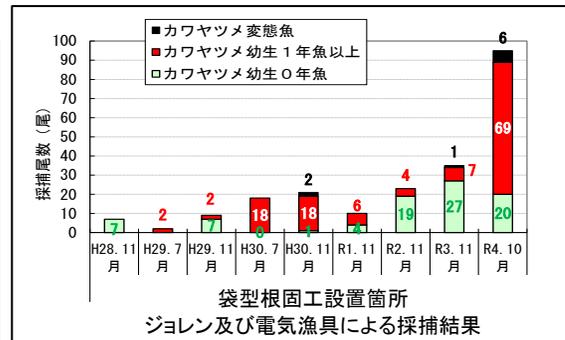
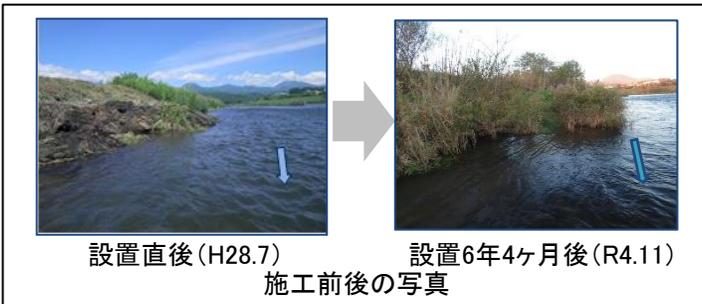
電気漁具によるカワヤツメ幼生採捕状況



モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

<モニタリング結果>

試験施工箇所に細砂・シルトが堆積傾向にあり、カワヤツメ幼生の生息に適した底質、水深、流速となり、生息適地の環境が創出され持続性が6年以上にわたり確認された。また、カワヤツメ幼生の採捕調査ではカワヤツメ幼生は増加しており、R4年の採捕結果が最も多く、生息環境創出の効果が現れていることが確認できた。



<アピールポイント>

試験施工箇所ではカワヤツメ幼生のほか、スナヤツメ、サクラマス幼魚、ウキゴリなども採捕され、良好な魚類の生息環境の創出にも寄与している。



採捕された魚類(R4.11)

備考